

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成29年6月29日(2017.6.29)

【公開番号】特開2015-220723(P2015-220723A)

【公開日】平成27年12月7日(2015.12.7)

【年通号数】公開・登録公報2015-076

【出願番号】特願2014-105361(P2014-105361)

【国際特許分類】

H 04 N 5/232 (2006.01)

H 04 N 7/18 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/232 B

H 04 N 7/18 E

【手続補正書】

【提出日】平成29年5月18日(2017.5.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外部装置とネットワークを介して通信可能な撮像装置であって、  
被写体を撮像する撮像手段と、

前記撮像手段を所定の方向に回転させる回転手段と、

前記回転手段が撮像手段を回転させる際の加速度を指定する情報を含む制御コマンドを受信するための受信手段と、

前記回転手段が撮像手段を回転させる際の速度が所定の範囲か否かに応じて、前記制御コマンドによって指定された加速度で前記回転手段を制御するか、前記制御コマンドによって指定された加速度と異なる加速度で前記回転手段を制御するかを決定し、当該決定された加速度で前記回転手段を制御する制御手段とを備えることを特徴とする撮像装置。

【請求項2】

前記速度を少なくとも前記撮像装置の設置位置、設置姿勢、重量の少なくとも一つに基づき変更する変更手段を更に備え、

前記所定の範囲には前記撮像装置の振動が増加する速度を含むことを特徴とする請求項1に記載の撮像装置。

【請求項3】

前記異なる加速度とは前記制御コマンドによって指定された加速度よりも小さい値であり、

前記制御手段は前記回転手段が撮像手段を回転させる際の速度が前記所定の範囲以下で前記回転手段の制御を前記第二の制御手段に切り替えることを特徴とする請求項1乃至2のいずれか1項に記載の撮像装置。

【請求項4】

前記異なる加速度とは前記制御コマンドによって指定された加速度よりも大きい値であり、

前記制御手段は前記回転手段が撮像手段を回転させる際の速度が前記所定の範囲内で前記回転手段の制御を前記第二の制御手段に切り替えることを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の撮像装置。

**【請求項 5】**

前記制御コマンドによって指定された加速度が所定の加速度よりも大きいかどうかを判定する第二の判定手段を更に備え、

前記第二の判定手段によって前記制御コマンドによって指定された加速度が所定の加速度よりも大きい場合に、前記制御手段は、前記回転手段が撮像手段を回転させる際の速度が前記所定の範囲以上の速度で前記回転手段の制御を行うことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

**【請求項 6】**

前記撮像装置が動作可能な加速度情報を前記外部装置に送信する送信手段をさらに備え、

前記制御コマンドには前記加速度情報を前記外部装置に送信指示する情報を含むことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の撮像装置。

**【請求項 7】**

被写体を撮像する撮像部を有し、外部装置とネットワークを介して通信可能な撮像装置の制御方法であって、

被写体を撮像する撮像手段を所定の方向に回転させる回転手段が撮像手段を回転させる際の加速度を指定する情報を含む制御コマンドを受信する受信ステップと、

前記回転手段が撮像手段を回転させる際の速度が所定の範囲か否かに応じて、前記制御コマンドによって指定された加速度で前記回転手段を制御するか、前記制御コマンドによって指定された加速度と異なる加速度で前記回転手段を制御するかを決定し、当該決定された加速度で前記回転手段を制御する制御ステップとを備えることを特徴とする制御方法。

**【請求項 8】**

請求項 7 に記載の複数のステップをコンピュータに実行させるためのコンピュータプログラム。

**【請求項 9】**

請求項 8 に記載のコンピュータプログラムを記憶したコンピュータ読取可能な記憶媒体。

**【手続補正 2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記目的を達成するために、本発明の撮像装置は、被写体を撮像する撮像手段と、前記撮像手段を所定の方向に回転させる回転手段と、前記回転手段が撮像手段を回転させる際の加速度を指定する情報を含む制御コマンドを受信するための受信手段と、前記回転手段が撮像手段を回転させる際の速度が所定の範囲か否かに応じて、前記制御コマンドによって指定された加速度で前記回転手段を制御するか、前記制御コマンドによって指定された加速度と異なる加速度で前記回転手段を制御するかを決定し、当該決定された加速度で前記回転手段を制御する制御手段とを備えることを特徴とする。